

# 平成21年3月期 決算説明資料



株式会社フジトミ



JASDAQ上場：証券コード8740

# 目次

企業集団の状況	...	1
事業所	...	2
平成21年3月期決算について／表紙	...	3
平成21年3月期決算の概要	...	4
事業の種類別セグメントの業績概要	...	5
業績概況(連結)	...	6
業績概況(個別)	...	7
貸借対照表(連結)	...	8
貸借対照表(個別)	...	9
業績推移(連結)	...	10
＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)	...	11
＜商品先物取引＞四半期営業収益の推移(連結)	...	12
＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳(連結)	...	13
＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳(連結)	...	14
平成22年3月期業績予想について／表紙	...	15
平成22年3月期業績予想(連結・個別)	...	16
平成22年3月期業績予想について	...	17
当社の取り組み	...	18

本資料は、平成21年3月期の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

本資料は、3月31日時点でのデータを元に作成しております。

# 企業集団の状況

当社グループは、当社及び連結子会社2社により構成されております。また、親会社((株)小林洋行)が当社株式の51.79%を保有しており、当社グループ及び親会社は、商品先物取引を主たる業務としております。当社グループの事業内容は次のとおりであります。

## (1) 投資関連サービス事業

### ① 商品先物取引業

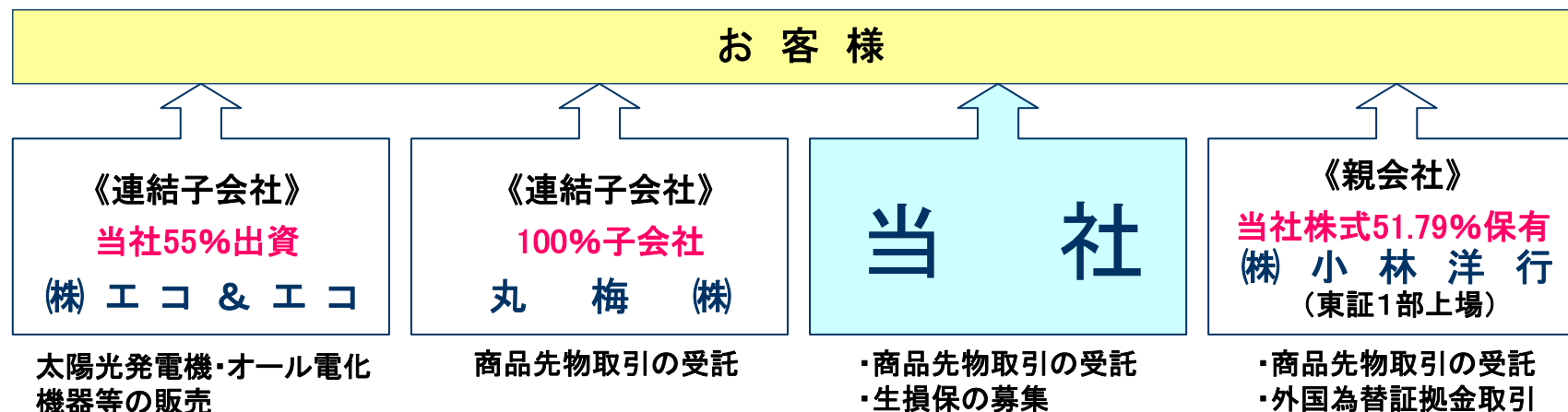
当社及び子会社(丸梅(株))が、商品取引所法に基づき設置された商品取引所が開設する商品市場に上場されている各種の商品先物取引について、顧客の委託を受けて売買を執行する業務(受託業務)及び自己の計算に基づき売買を執行する業務(自己売買業務)を行っております。

### ② 保険募集業務

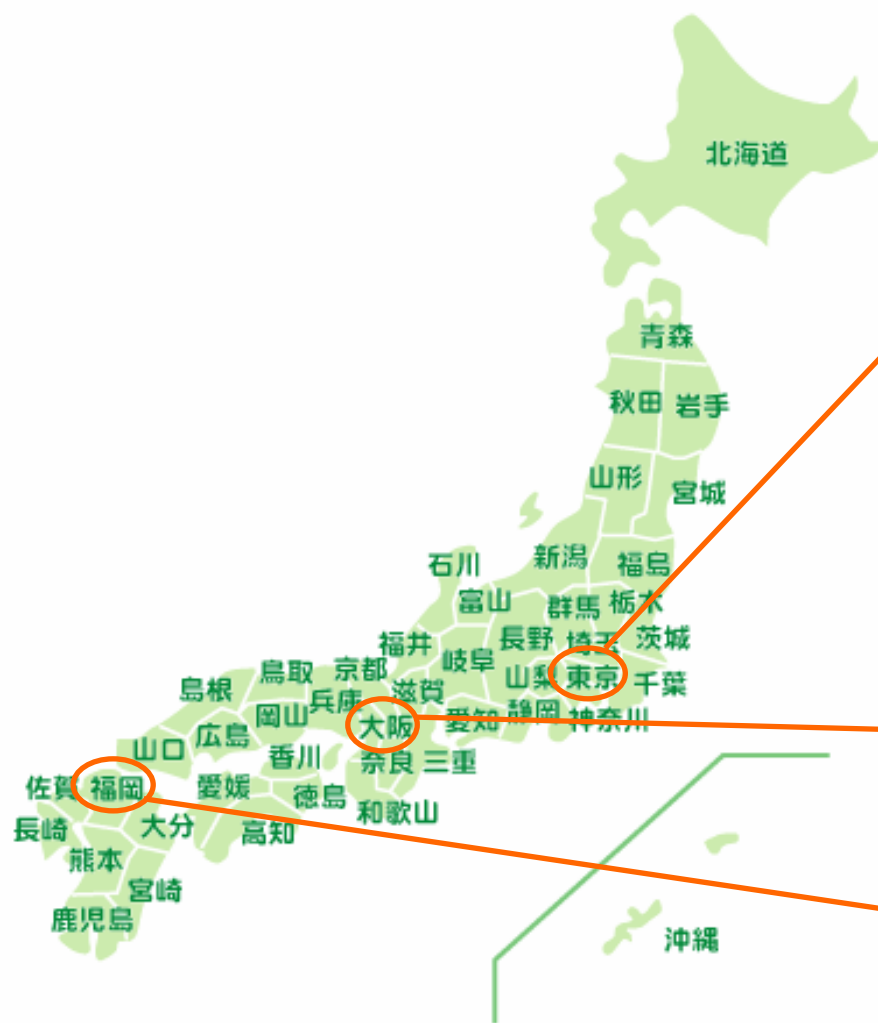
当社が、生命保険の募集業務及び損害保険代理店業務を行っております。

## (2) 太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業

子会社(株)エコ&エコ(平成20年6月設立)が、平成20年7月から太陽光発電機・オール電化機器等の販売及び設置工事を行っております。



# 事業所



## <東京地区>

本 社：東京都新宿区大久保1-3-17

子 会 社：丸梅株式会社

東京都中央区日本橋兜町7-2

子 会 社：株式会社エコ&エコ

東京都中央区日本橋小網町18-6

## <関西地区>

大阪支店：大阪府中央区難波4-4-4

## <九州地区>

福岡支店：福岡府中央区天神2-14-13

# 平成21年3月期 決算について



# 平成21年3月期決算の概要

## <業界環境>

わが国の商品先物取引市場は、平成16年の商品取引所法の改正以降、商品取引員に対する勧誘規制の強化などで、市場の規模縮小が続いておりますが、激しい相場変動や景気悪化による個人投資家の市場離れで、当連結会計年度の全国商品取引所の出来高合計は4,631万枚(前期比34.8%減、平成16年3月期比70.3%減)と大きく落ち込みました。

市場環境の悪化に加え、東京工業品取引所の新取引システム対応のコスト負担や(株)日本商品清算機構の清算資格の財務要件強化などで、受託業務の廃止など、引き続き商品取引員の淘汰が進んでおります。

## <当社グループの営業成績>

このような環境のなか、当社グループは、人件費を中心とした営業費用の削減に努める一方、商品先物取引市場への依存度引下げを図るため、保険募集業務の営業体制整備を進めると共に、平成20年6月に当社55%出資の子会社(株)エコ&エコを設立し、7月から太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業を開始いたしました。

しかしながら、急速な営業収益の減少に営業費用の削減が追いつかず、当連結会計年度の連結業績は次の通りとなりました。

営業収益	2,018百万円 (前期比 10.5%減)
営業費用	2,391百万円 (前期比 14.7%減)
営業損失	467百万円 (前期は営業損失 546百万円)
経常損失	392百万円 (前期は経常損失 465百万円)
当期純損失	477百万円 (前期は当期純損失 775百万円)

# 事業の種類別セグメントの業績概要

## <事業の種類別セグメントの業績>

### 1.投資関連サービス事業

商品先物取引市場の流動性低下などの影響を受け、当連結会計年度の投資関連サービス事業の営業収益は1,881百万円(前期比16.6%減)、営業損失は407百万円(前期は営業損失546百万円)となりました。なお、営業費用は2,288百万円(前期比18.3%減)となっております。

#### ①商品先物取引受託業務

当連結会計年度の受取手数料は1,247百万円(前期比15.7%減)となりました。

#### ②商品先物取引自己売買業務

当連結会計年度の売買益は610百万円(前期比21.0%減)となりました。

#### ③保険募集業務

保険募集業務(平成19年8月に生命保険、平成20年2月に損害保険業務を開始)の当連結会計年度の受取手数料は22百万円(前期は2百万円)となりました。平成21年2月から、本社に加え福岡支店でも保険募集業務を開始しております。

### 2.太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業

子会社(株)エコ&エコ(平成20年6月16日設立、7月14日から営業開始)で行っている太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業の当連結会計年度の業績は、景気悪化で受注が伸び悩み、売上高136百万円、営業損失63百万円となりました。

## 業績概況（連結）

（単位：百万円）	H20. 3期	H21. 3期	対前年増減率
営業収益	2,255	2,018	△10.5%
内 受取手数料	1,482	1,269	△14.4%
営業利益	△ 546	△ 467	—
経常利益	△ 465	△ 392	—
当期純利益	△ 775	△ 477	—
一株当たり当期純利益	△113.06円	△69.57円	—
一株当たり純資産額	906.07円	812.06円	△10.4%
自己資本比率	59.3%	62.7%	3.4%
ROE（自己資本利益率）	△11.4%	△8.1%	3.3%
ROA（総資産利益率）	△4.6%	△4.5%	0.1%



## 業績概況（個別）

（単位：百万円）	H20. 3期	H21. 3期	対前年増減率
営業収益	1,593	1,217	△ 23.6%
内 受取手数料	917	673	△ 26.6%
営業利益	△ 415	△ 351	—
経常利益	△ 328	△ 271	—
当期純利益	△ 612	△ 296	—
一株当たり当期純利益	△ 89.28円	△ 43.28円	—
一株当たり純資産額	867.36円	799.21円	△ 7.9%
自己資本比率	72.6%	77.5%	4.9%
ROE（自己資本利益率）	△ 9.5%	△ 5.2%	4.3%
ROA（総資産利益率）	△ 4.3%	△ 4.1%	0.2%

# 貸借対照表（連結）

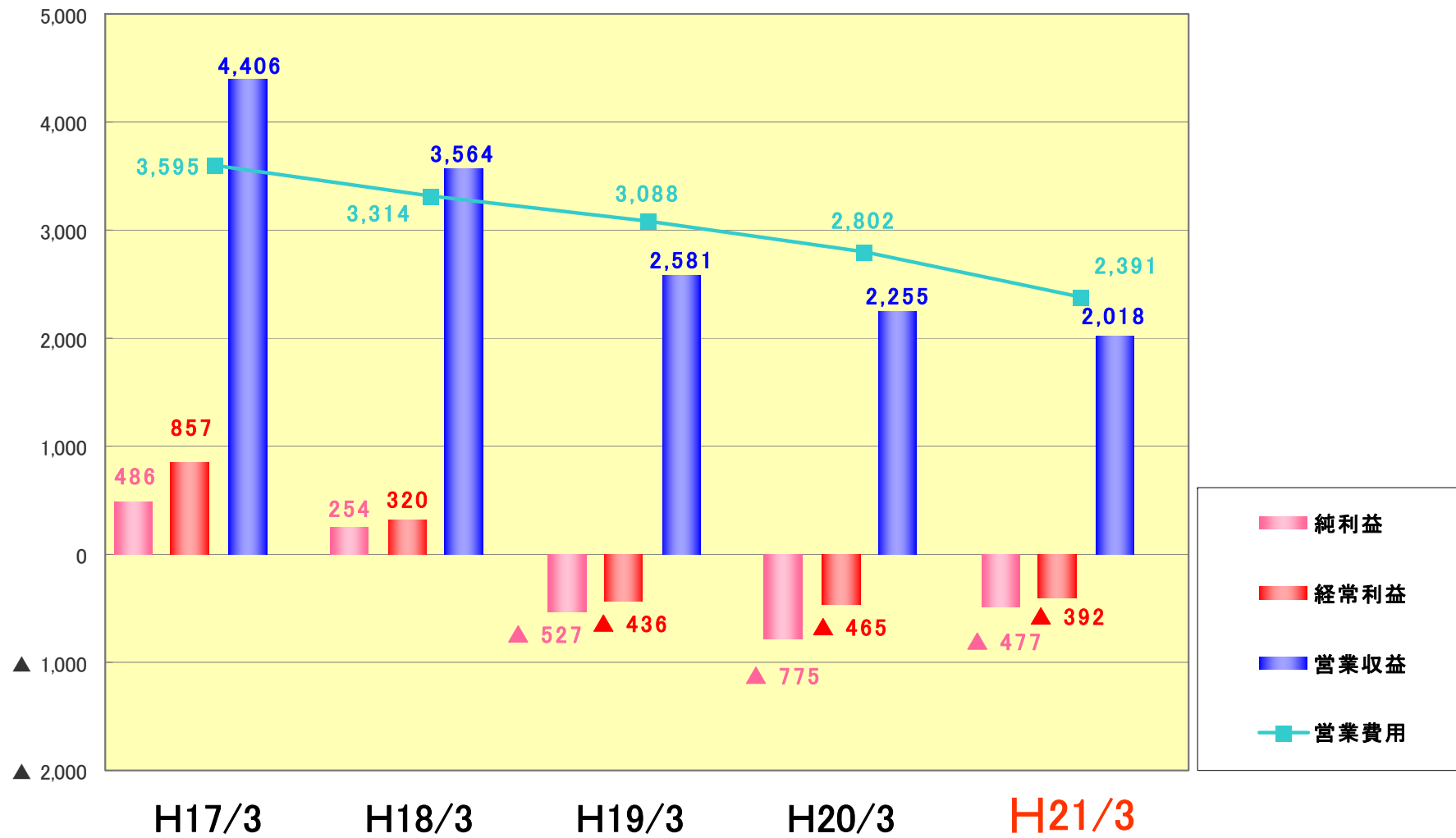
（単位：百万円）	H20. 3期	H21. 3期	対前年増減率
流動資産合計	7,481	6,142	△17.9%
内 現金及び預金	3,780	3,181	△15.8%
固定資産合計	3,003	2,738	△8.8%
内 投資有価証券	617	371	△39.8%
内 投資不動産	872	861	△1.3%
資産合計	10,484	8,880	△15.3%
流動負債合計	3,429	2,761	△19.5%
内 預り証拠金	3,203	2,569	△19.8%
固定負債合計	753	488	△35.2%
負債合計	4,269	3,310	△22.5%
純資産合計	6,215	5,570	△10.4%
内 その他有価証券評価差額金	166	67	△59.6%

# 貸借対照表（個別）

（単位：百万円）	H20. 3期	H21. 3期	対前年増減率
流動資産合計	4,692	3,724	△20.6%
内 現金及び預金	2,896	2,393	△17.4%
固定資産合計	3,503	3,347	△4.5%
内 投資有価証券	564	331	△41.3%
内 投資不動産	872	861	△1.3%
資産合計	8,195	7,072	△13.7%
流動負債合計	1,617	1,138	△29.7%
内 預り証拠金	1,450	1,014	△30.1%
固定負債合計	565	415	△26.5%
負債合計	2,245	1,589	△29.2%
純資産合計	5,950	5,482	△7.9%
内 その他有価証券評価差額金	169	67	△60.3%

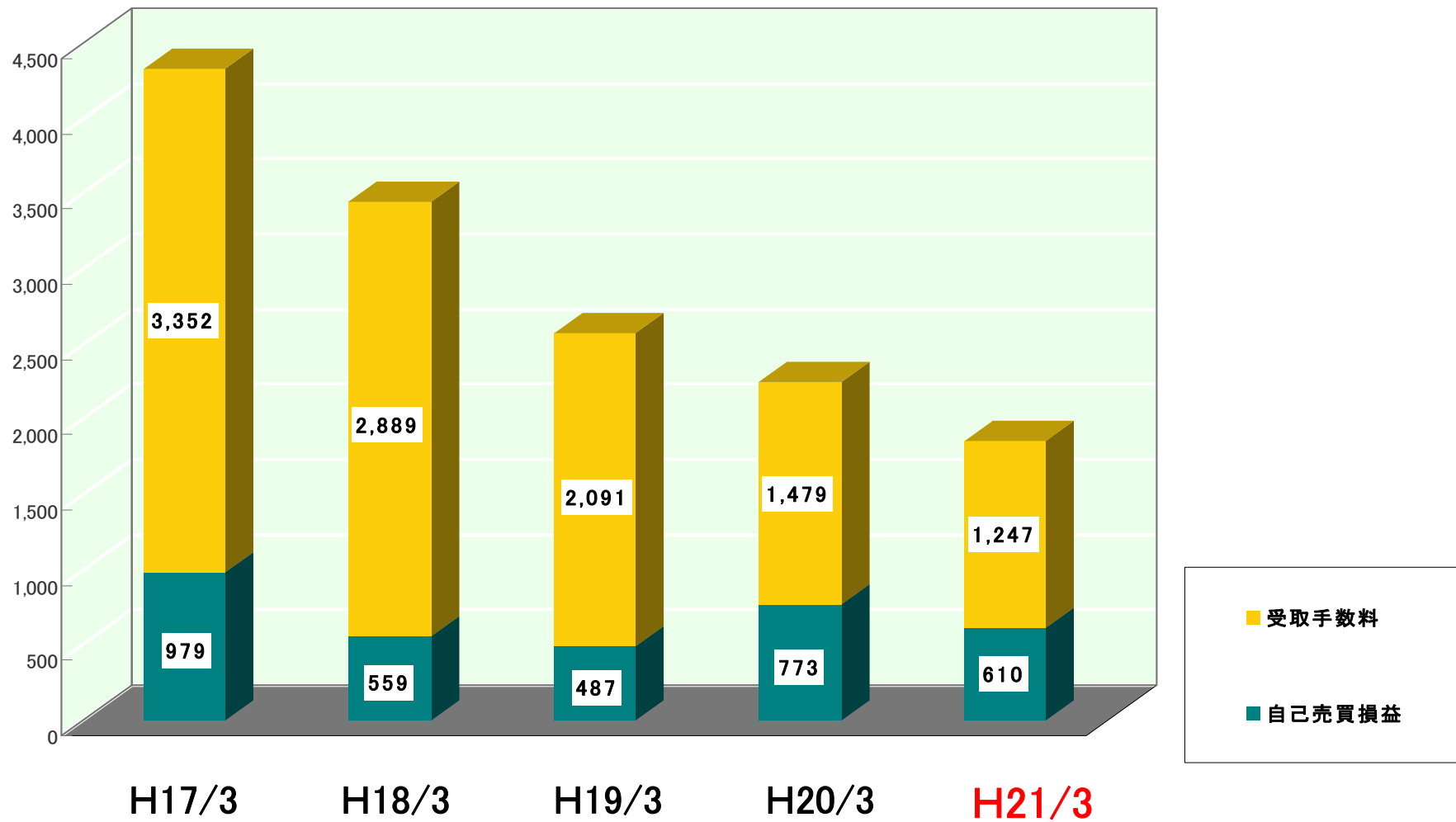
# 業績推移（連結）

単位：百万円



## ＜商品先物取引＞営業収益の推移（連結）

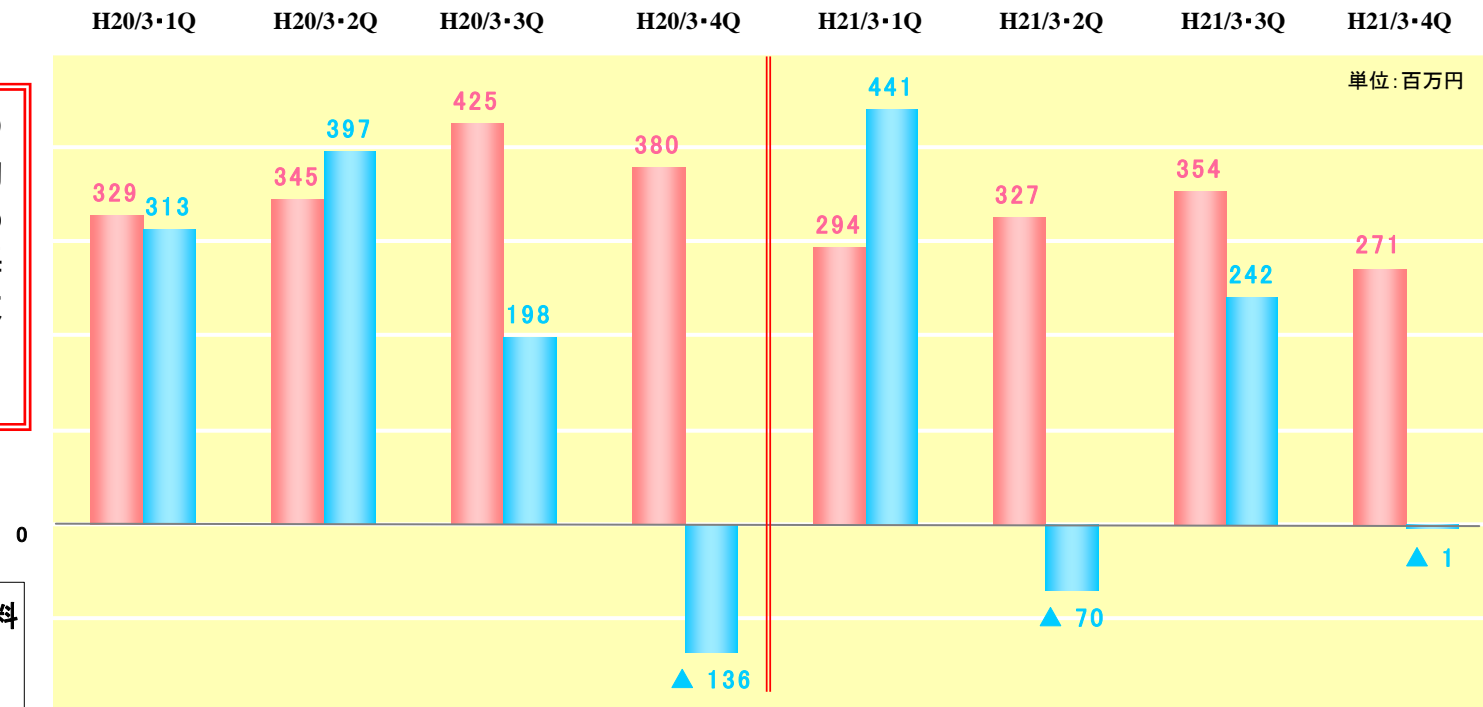
単位：百万円



## ＜商品先物取引＞四半期営業収益の推移（連結）

当社グループの業績は、市場動向に左右されるため、四半期毎など短期では大きく変動しております。

■ 受取手数料  
■ 売買損益

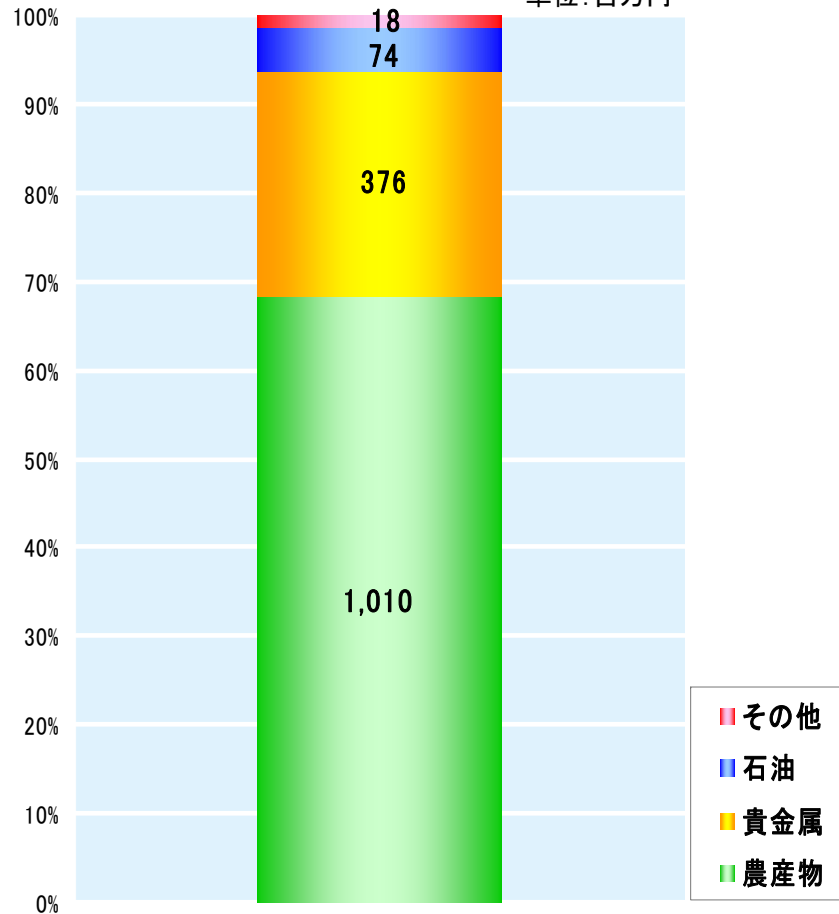


(単位: 百万円)	H20/3 1Q	H20/3 2Q	H20/3 3Q	H20/3 4Q	H21/3 1Q	H21/3 2Q	H21/3 3Q	H21/3 4Q
受取手数料	329	345	426	382	297	332	361	278
商品先物取引	328	344	425	380	294	327	354	271
商品ファンド	0.6	0.3	-	-	-	-	-	0.02
(生損保の募集)	(-)	(-)	(0.7)	(1.7)	(3.2)	(5.2)	(6.7)	(7.1)
売買損益	313	397	198	△ 136	441	△ 70	242	△ 1
商品先物取引	313	397	198	△ 136	441	△ 70	242	△ 1

## ＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳（連結）

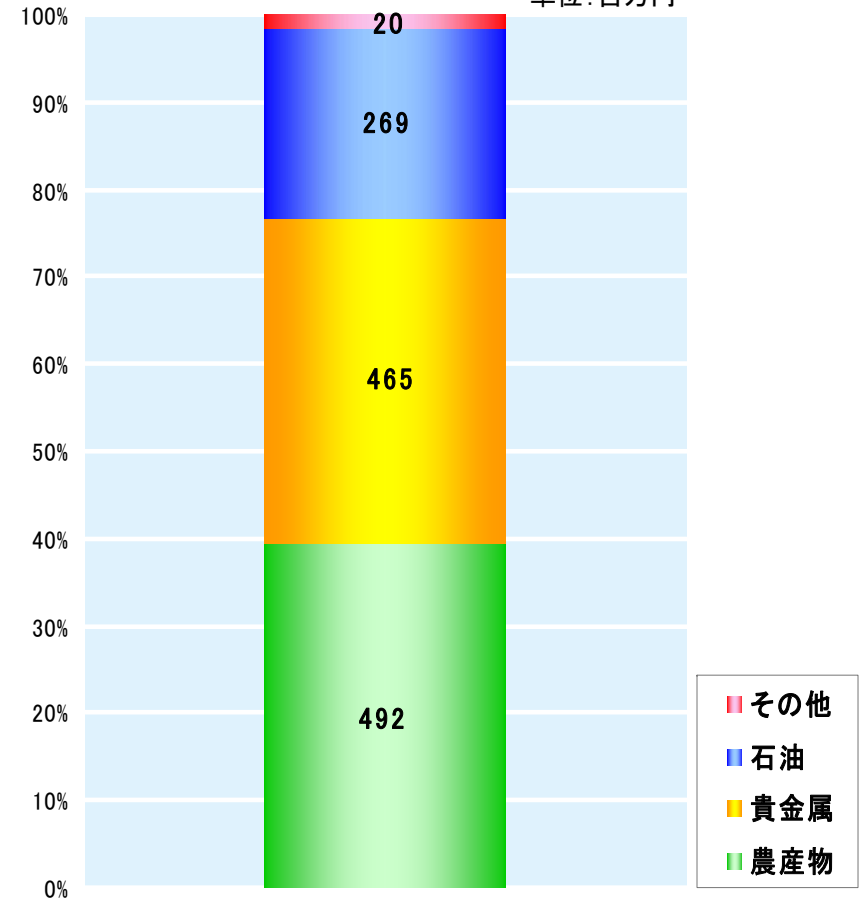
H20.3

単位：百万円



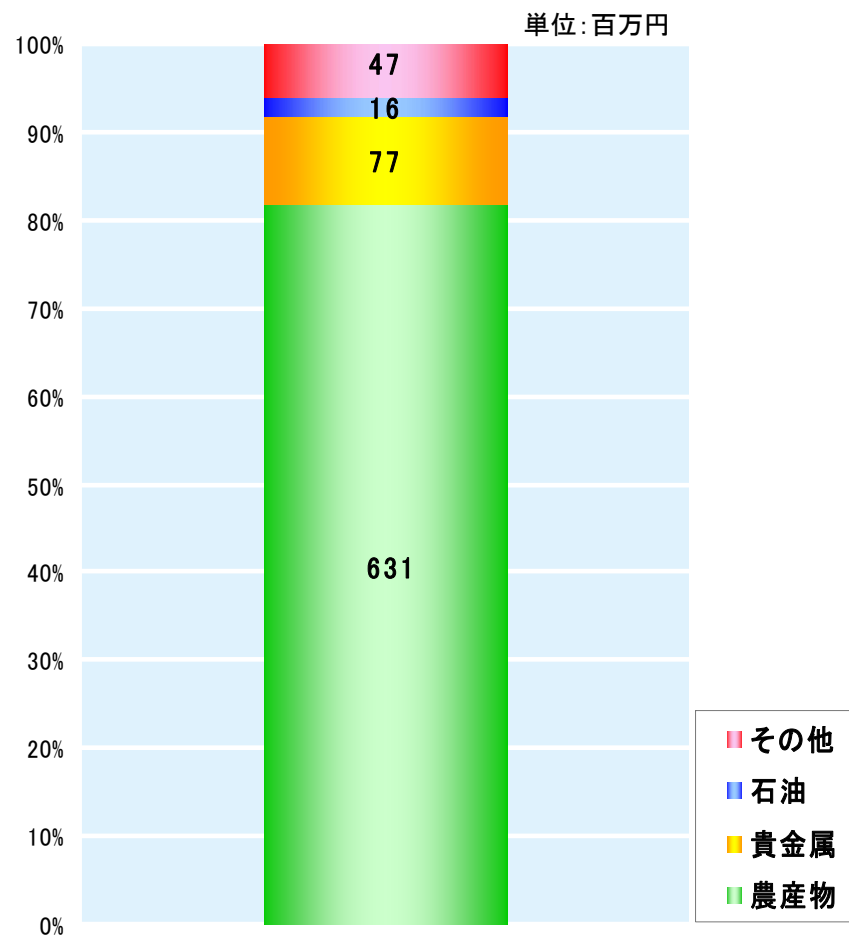
H21.3

単位：百万円

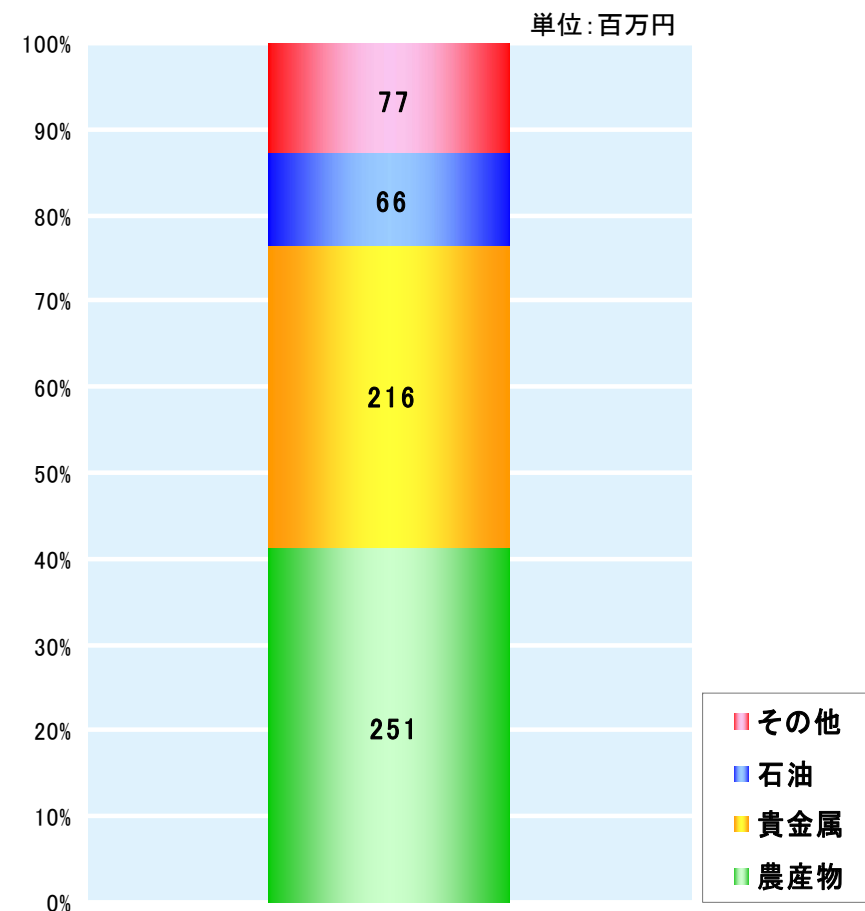


## ＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳(連結)

**H20.3**



**H21.3**





# 平成22年3月期業績予想について

---



# 平成22年3月期業績予想(連結・個別)

## 連結

(単位:百万円)	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	1株当たり 配当金
21年3月期実績	2,018	△ 467	△ 392	△ 477	△ 69.57円	7.5円
22年3月期予想	2,450	△ 180	△ 100	△ 100	△ 14.58円	5円

## 個別

(単位:百万円)	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	1株当たり 配当金
21年3月期実績	1,217	△ 351	△ 271	△ 296	△ 43.28円	7.5円
22年3月期予想	1,160	△ 240	140	140	△ 20.41円	5円

- (注) 1. 上記の業績予想値は、「平成21年3月期決算短信」(平成21年5月14日付)で発表したものであり、修正は行っておりません。
2. 上記予想は発表日現在入手できる情報並びに不確定要因に係る仮定に基づくものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
3. 個別の業績予想に関しましては、営業外収益に、100%子会社丸梅(株)からの配当金300百万円を含んでおります。

## 平成22年3月期業績予想について

商品先物取引業主体の投資関連サービス事業につきましては、商品先物取引市場の出来高減少により、当面、厳しい業界環境が続くものと想定し、営業収益は5%の減収と仮定いたしました。

なお、収支の改善を図るため、投資関連サービス事業の営業費用は、2,000百万円(前期比12.6%減)以下に削減する方針であります。

太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業につきましては、東京都等の補助金等を追い風に、黒字転換を見込んでおります。

(注)1. 上記の業績予想は発表日現在における入手可能な情報並びに不確定要因に係る仮定に基づくものであります。当社グループの業績は相場動向等により変動するため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 当社グループは、当連結会計年度の営業収益の92%以上を商品先物取引業に依存しており、業績は個々の商品の値動き等に大きく左右され、3ヵ月毎又は6ヵ月毎などの短期間では通期に比べより大きく業績が変動する傾向にあります。このため、予測の難しい第2四半期累計期間(6ヶ月)の業績予想は行っておりません。

# 当社の取り組み

## 1. 商品先物取引受託業務の採算改善

- ・人件費を中心とした大幅な営業費用の削減
- ・顧客サービスの向上のための従業員教育の充実

## 2. 保険募集業務の営業体制の拡大

- ・平成21年2月から福岡支店でも生保募集業務を開始  
引き続き営業体制の整備を進め、当社の安定収益源に育成

## 3. 太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業の拡大

- ・他社との業務提携を含め、販売体制の強化を推進
- ・東京都などの補助金を追い風に黒字化を目指す

## 4. その他

- ・当社の経営資源を生かせる新規事業への参入を、引き続き積極的に検討



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 フジトミ

経営企画室

E-mail: [keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp](mailto:keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp)